

## 6. 「コミュニティ・プラットフォーム」に 近い機能を持つ団体事例

---

組織名	組織概要 (設立過程、規模等)	ミッション (何のために)	運営主体 (誰が)		拠点 (どこで)			事業	協働の対象 (何を、誰に)											左記以外の分野のサービス提供				
			民間 行政	民間 行政	民間 行政	民間 行政	民間 行政		民間 行政	協働の対象				マネジメントリソース支援 関連サービス				個人の参加促進 サービス						
										NPO	個人、ボランティア	企業	行政	育成 人材 (確保、調達、 保証)	資金 (助成金、信用 提供、貸与)	施設・機材 (提供、発信)	ノウハウ・情報 (提供、発信)	ネットワー ク(出 会 の 機 会 設 定)	人材 (学 習)		施設・機材 (提供、貸与)	ノウハウ・情報 (提供、発信)	換、出 会 の 機 会 設 定)	ネット ワー ク (情 報 交 換)
せんだい・みやぎ NPOセンター	地域の市民が情報を持ち込み交換する「エコロジーショップ」の経営者が、研究会等の活動を経て、NPO支援団体を組織。 活動開始：1994年4月 団体設立：1997年11月 法人格取得：1999年7月 職員：専従スタッフ16名 予算規模：約7000万円	地域における民間支援組織として幅広く地域や分野を越えたNPOの活動基盤強化をはかり、企業や行政とのパートナーシップの形成を促進し、もって市民社会の発展に寄与すること。	○		○			《マネジメント支援》 NPO経営理論や手法を、講座や研修、コンサルティングを通じて提供。 《場所と機材の提供》 仙台市に働きかけて市民活動サポートセンターを設置。コンペによる受託によりセンターを管理運営。印刷機、紙折り機、コピー、PC等の機材とロッカー、共同事務室などを提供。 《情報収集・発信》 プレスリリース、ニュースレター発行、FAX通信、ホームページ、メールマガジン、図書の貸出しなどを実施。内容は、全国のNPO情報、助成金情報、ボランティア募集情報など。 《資源の仲介》 寄付者の意向に沿った寄付先選定と成果の保証、報告及び支援先NPOの信用保証を実施。寄付先に、物品・場所、PC、資金、人材などの経営資源を提供。 《サロンの運営》 NPOとNPO、NPOと行政、NPOと企業等の組織・セクター間の交流促進のためにセクターサロンを毎月開催。	○	○			○											
浜松NPOネット ワークセンター	「情報公開条例を市民の手に」連絡会に集まったグループが中心になりNPO支援活動を開始。現在も複数グループにより組織を運営。 活動開始：1997年3月 事務所開設：1997年11月 職員：運営スタッフ7名 団体会員：20団体	市民の夢や思いを「つなぎ、しらべ、しらせ、ささえ、そだてる」市民による共同事務所、情報センターとして、地域や分野を越えた市民の活動を支えるとともに、企業や行政とのパートナーシップづくりに努め、新しい市民社会の実現を目指すこと。	○		○			《マネジメント支援》 個人・団体へのマネジメント講座、コンサルテーション、支援及び海外NPO/NGOの視察や研修を希望する人への相談事業を実施。 《啓発事業》 NPO人材養成講座「NPOステップアップ講座」や市民公開セミナーを実施。子供の総合学習、大学や市町村での市民活動を学ぶ機会に講師を派遣。 《共同事務所運営管理》 個人・団体会員はじめ一般向けに印刷機、会議室などの事務設備を提供。 《情報収集・発信》 ニュースレターを発行。収集情報を情報コーナーで掲示。内容は、団体紹介、イベント情報、全国のNPO動向、助成金情報など。 《ネットワーク推進事業》 「団体会員代表者会議」を年1～2回開催、サポート事業の検討と全国的なNPOの動きや行政の事業の詳細についての情報提供。 《NPOモデル開発事業》 シニア、在住外国人、障害者たちがお互いに支え合う仕組みづくりを目的とし、セミナーや交流会、医療サービスなど多文化共生事業を展開。また、コンピューター教室「やさしいネット」を開講。	○	○			○											
三重県生活部生活 課NPO室	行政職員によりNPO活動支援のしくみが徐々に整う。活動拠点の移転を契機に、市民による拠点運営への移行を検討開始。 活動開始：1998年4月 市民活動センター移転：2001年4月	NPO活動のための基盤整備、NPOとの協働推進、NPOの活動支援、NPOの推進強化等に関する業務を実施すること。		○			○	《施設運営管理》 市民活動センターを運営管理。 《情報収集・発信》 市民活動ニュース、週間NPO法人の発行。市民活動団体情報データベースを構築、運営管理。 《電子会議室の運営》 バーチャル県政企画室、NPOおしゃべりCAFÉ等のコンテンツを提供。		○														
カルチャーネット ワーク(NPO法人)	青年会議所会長を中心に有志により文化活動ガイドブックを作成。これを契機に継続的な活動が続けられる中、文化センターの管理運営を市から受託し活動拠点を獲得。しだいにNPO支援活動も行うようになる。 団体設立：1996年10月	「ここに来ればなんでも分かる！」という白河地域の情報発信基地を作り、文化・スポーツ・ボランティア・企業・団体・個人の情報をネットワークすること。	○				○	《施設運営管理》 白河市からの受託により文化センターを運営管理。 《文化事業の企画》 舞台芸術鑑賞事業や講習会を企画。 《情報収集・発信》 毎月1回情報誌「ぶらぶら」を発行し、地域のイベント情報を提供。 《他団体の活動支援》 情報誌「ぶらぶら」と一緒に会員の情報誌やちらしを同封しPR、専用ポスター掲示板に情報掲示する他、チケット販売の支援などを実施。 《事務業務の受託》 他団体の活動の問合せ窓口になったり、文書や簡単なチラシを作る支援業務を実施。			○													

